



## 日本生物工学会西日本支部大会2020 報告

日本生物工学会西日本支部大会2020（第5回講演会）は、2020年11月14日（土）、岡山理科大学岡山キャンパスにて、稲垣賢二西日本支部長を大会実行委員長として企画・開催されました。

本大会は、理大ホール会場での授賞式と受賞講演から始まりました。西日本支部では、35歳以下の若手研究者を表彰する西日本支部若手研究者賞を今年新設しました。その第1回目の受賞者である片岡尚也氏（山口大学大学院）への授賞式が行われました。稲垣支部長から表彰状、記念品の楯、副賞が授与された後、受賞講演が行われました。西日本支部若手研究者賞は、2年に1回、支部大会の際に授与する予定です。次に、堀尾京平氏（広島大学大学院博士課程）による第9回生物工学学生優秀賞（飛翔賞）の受賞講演と伊藤一成氏（岡山県工業技術センター）による第52回生物工学奨励賞（江田賞）の受賞講演が行われました。続いて行われた本学会会長の高木昌宏先生（北陸先端科学技術大学院大学教授）による「科学と文化・成功と幸福について」と題する特別講演では、科学者はなぜ研究をするのか、研究も文化活動の一環としてわれわれは研究の中で人生の幸福を得られるのか、という根源的かつ哲学的なテーマが熱く語られ、聴衆は魅了されました。

特別講演の後、参加者は4会場に移動して一般講演が行われました。演題数は延べ41演題、発表と質疑応答が行われました。一般講演をすべて終了した後に、学園食堂で意見交換会が行われました。感染予防のため、正会員限定で事前登録者（23名）のみに個別に弁当を用意して1時間半の限られた時間内で開催されました。

本大会は、西日本支部創立30周年を記念して2012年に始まった支部講演会の第5回を支部大会2020として開催したものであり、今後も2年に1回支部大会を開催する予定です。最終的に参加者は110名、一般講演としては41演題が4会場で発表されました。

今回の開催に当たり、状況によってはオンライン開催に切り換えることも念頭に置きながら、新型コロナウイルス感染予防の対策も併せて大会準備に細心の注意を払いました。幸いにして、温暖な秋晴れの天候に恵まれて、検温、ソーシャルディスタンス、マイクや機器の使用ごとの除菌消毒も実施しつつ、円滑に運営を進めることができました。学会口頭発表が困難な状況ではありますが、学部生、大学院生、若手研究者に発表と討論の場を提供して、西日本支部内の交流を促進するために対面式で実施できました。会場を提供していただいた岡山理科大学および協力いただきました関係諸兄に心より厚く御礼申し上げます。

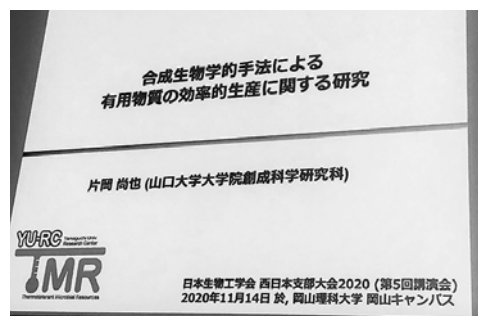
（西日本支部大会2020実行委員会 総務代表（支部庶務幹事）  
田村 隆）



会場の理大ホール



西日本支部若手研究者賞の賞状と楯



受賞講演



第1回西日本支部若手研究者賞受賞者片岡尚也氏（山口大学）と稲垣支部長